

令和5年度事業計画

1. 財団の運営方針

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により戦後最大の落ち込みを経験したが、ウィズコロナの考え方の下、経済社会活動の正常化が進んでいる。その一方で、市内中小企業は世界経済の同時回復やウクライナ情勢などを背景とした原材料価格の高騰に伴う世界的な物価上昇という課題に直面している。

このような状況の下、当財団では事業者の目線に立ち、市の産業振興行政の一翼を担う団体として創業や販路開拓の支援、経営課題の解決等の各種施策を市や関係支援機関とのネットワークを活かして着実に推進していく。

具体的には、経済社会活動が正常化に向かう中で、開業支援コンシェルジュを中心とした起業支援の充実に努めるとともに、感染症による大きな影響を受けた生活文化産業系事業者の販路拡大を推進するため、販売チャレンジパイロットショップや販路開拓コーディネート事業を実施するほか、平成19年度から実施している神戸セレクションの支援策を拡充させる。

今後も市との相互連携を図りながら、DXやCN（カーボンニュートラル）、SDGsといった社会の要請をふまえ、最適な支援メニューを提供する最前線の組織として事業者の伴走支援を行い、神戸経済の発展に寄与する。

2. 公益目的事業

(1) 中小企業等支援事業

ア 創業・新事業の支援

(ア) 神戸開業支援コンシェルジュ

目的：創業の裾野を拡大する

施策：・当財団が中心となる支援機関との連携によるセミナー、専門相談の実施
・開業後のフォローアップの実施

(イ) 食のスタートアップ支援事業

目的：飲食店の開業を支援する

施策：・阪急オアシス神戸三宮店内の1区画で、飲食店の開業を目指している方に対しチャレンジの場を提供
・神戸開業支援コンシェルジュコーディネータ等の派遣

(ウ) インキュベーション施設（神戸ハーバーオフィス）の提供

目的：創業希望者や創業期企業を育成する

施策：・神戸市産業振興センター内での事業スペースの提供
・専門家による経営支援

イ 販路開拓・拡大の支援

(ア) 販売チャレンジパイロットショップ

目的：生活文化産業系事業者のさらなる事業展開を支援する

施策：市営地下鉄等の駅構内スペース等を活用し、飲食・物販などのテストマーケティングや販路開拓を行うチャレンジの場（愛称：K O B E そらゆめマルシェ）を提供

(イ) 青森県との連携事業

目的：空港就航都市である青森との交流人口を増加させ、市内経済の活性化を図る

施策：青森県内の催事等へ市内事業者の出店を促進し、販路拡大を支援

(ウ) 神戸セレクション（拡充）

目的：神戸らしいお洒落で良質な商品を公募・選定し、新たな神戸ブランドの創出、販路拡大の支援を図る

施策：選定方法を見直し、当事業の趣旨に沿った商品に絞り込む。

また、販路拡大の支援として、引き続き各地の百貨店で展示・販売会等を実施するとともに、新たに下記の内容を実施することで、市内認知度を高めつつ全国展開を推進する。

- ・ 駅ナカ出店スペースでの展示・販売会等の実施
- ・ 市内主要商業施設での販売会等の実施
- ・ 地域の魅力を発信しているECサイトとの連携

(エ) 販路開拓コーディネート事業

目的：販路開拓や新事業への展開、新商品開発力の強化を支援する

施策：財団職員がアドバイザーとともに市内中小企業の課題を整理し、販路拡大に向けた計画策定等の伴走型支援を実施

(オ) 戦略産業参入支援事業

① 航空機産業参入支援

目的：今後大きく成長することが見込まれる航空機産業への地元中小製造業の参入をさらに促進する

施策：将来に向けた一貫生産体制の構築を目標に、地元中小製造業グループの品質保証体制や製造技術力強化などを支援

② 水素産業参入支援（事業移行）

脱炭素社会の実現に向けた水素利活用技術の研究開発が本格化する中、神戸水素クラスター勉強会への支援をさらに効率的、効果的に進めていくため、事務局を水素関連事業に関する人材・情報・ノウハウ等を有する（公財）新産業創造研究機構へ移行する。

当財団は、勉強会や経営相談等を通じた会員企業の個社支援に引き続き尽力する。

ウ 情報化・情報提供

(ア) 神戸発・優れた技術

目的：認定企業の情報発信による販路開拓等を支援する

- 施策：
- ・引き続き優れた技術や製品を有する市内中小企業を「神戸発・優れた技術」として認定
 - ・認定企業の技術・製品や強みをわかりやすく紹介する広報媒体により、全国に発信
 - ・事業発展のための見直し検討

(イ) 広報・PR事業

目的：市内中小企業に対し支援策の活用を促す情報発信及び広聴を強化する

- 施策：
- ・ホームページ、SNSによる施策情報及び利用事例等の情報発信
 - ・SDGs、CNに関する取り組みの発信
 - ・企業訪問による財団パンフレットの配布、支援希望アンケートの実施

(ウ) 中小企業支援データベース構築

目的：市内中小企業の基本情報や支援情報を集積し、組織的な支援体制を構築する

- 施策：
- ・データベースの充実
 - ・市内中小企業の情報を発信する「Biz Search KOBE」の運用

(エ) 神戸未来共創思考サロン運営事業

目的：市内中小企業のDXの取り組みを支援する

- 施策：中小企業のDXの実現に向けたビジネスアイデアや事業計画を創出するとともに、神戸発の製品・サービスを持続的に生み出すコミュニティ形成を支援

エ 人材育成

(ア) 人づくり研修

目的：研修の実施が困難な中小企業における人材の育成と定着を支援する

- 施策：若手従業員等を対象に、ビジネスシーンに必要な知識、SNSを活用したWebマーケティング、IT導入やDX等の研修を実施

(イ) 神戸マイスター

目的：市が「神戸マイスター」と認定した全国的に通用する卓越した技術・技能者の社会的認知の向上を図るとともに、技術・技能を継承・発展させる人材の育成を支援する

- 施策：
- ・「神戸マイスターフェスティバル」「神戸マイスター交流サロン」等の実施
 - ・「ゲストティーチャー制度」等での後進指導

オ 経営課題の解決支援（経営革新支援）

（ア）専門家派遣

目的：中小企業等に必要な専門家を派遣し、経営に関する多様な課題の解決を支援する

施策：・経営革新、ISO認証取得などの支援
・商店街・小売市場の活性化などの支援
・DXやSDGs経営の推進に向けた伴走支援

カ 相談・セミナー・研修等

（ア）出張型中小企業成長支援事業

目的：地元金融機関と連携し、次代の有望企業を発掘・支援する

施策：企業へのヒアリングによりニーズを把握し、支援策の提案や柔軟な支援を展開

（イ）100年経営支援事業

目的：中小企業の事業承継の円滑化を図り、地域に根付いた価値ある企業を次世代に引き継ぐ

施策：・企業ヒアリングによる事業承継ニーズの掘り起こし
・専門家の訪問支援によるプッシュ型支援を実施
・後継者不在企業と起業家等第三者とのマッチングを実施

（ウ）ワンストップ相談体制

目的：市内中小企業者の様々な経営課題に対応するための相談および案内を行う

施策：・「ひょうご・神戸経営相談センター」における、県・市・商工会議所等支援施策の総合的な案内
・神戸商工会議所と連携した、経営・金融に関する相談
・技術士会と連携した、技術に関する相談

（エ）セミナー・研修

目的：中小企業に従事する人材の能力向上を図る

施策：パソコン講座のほか、中小企業支援機関等と連携し、セミナー・研修を開催

（オ）神戸生産技術研究会

目的：機械金属加工関係の大手・中小企業の技術者を中心に、大学、大手企業の研究所、公設試験研究機関等の研究者が加わった産学官の技術研究グループにより、技術交流及び中小企業への技術移転を推進する

施策：生産システム・加工技術・情報処理技術等をテーマにした研究会や見学会の開催

(2) 施設の管理運営

(ア) 神戸市産業振興センターの管理運営

第5期指定管理の3年目にあたる令和5年度も引き続き、中小企業振興の総合的な拠点施設として会議室、レセプションルーム等の利用促進を図るとともに、利用者の視点に立った、より安全・安心で快適なサービスを提供する。

<具体的な内容>

- ・隣接駐車場との提携による会議室等利用者への駐車場割引券の交付
- ・託児のための会議室使用料減免
- ・会議室のカーペット・クロスの更新
- ・照明LED化等によるCNの取り組み推進

3. 収益事業等

(1) 施設事業

神戸市産業振興センター内のレストラン運営と自動販売機の設置により、施設利用者の利便性の向上を図る。